

彼の觀察に依りますと

我が國の世果政策は傳統的には明治三十五
年二月日英同盟が締結されたこと以來これ
を樞軸として廻轉して来たものがある
て、歴代の内閣及び政友會は是れを継
て居りましたが其後世界の形勢は進轉、変
化いたしましたして日露戦争時付あります
と伊藤公に依りまして露國を重大視するべ
き傾向が代表されたことなる様にありまして
同四十五年には桂公、後藤、新平らの露國入

6. 露

をとりましたのが明治天皇の崩御の爲めに中途
から引き返しました。この頃から我國の世
界政策として露、獨を重視する。其議論が
表れる様にある。ありまして、世界大戦のあり
をりますと我國一部の有力なる輿論とあ
りました。既に日英同盟が廢棄された
今日では尠く大なる富力を蓄積せる米國の恐
威、虎視眈々たる英國の政策に率る反感を
をもちつゝ、親露傾向は政治家の一部、軍事家
労働運動者、社會運動者の間に尤も甚しき